

連携機関ご紹介コーナー

政永内科・まさなが歯科クリニック

院長 政永 敏之 Toshiyuki Masanaga

平成元年／広島大学医学部 消化器・代謝内科卒業

趣味／運動不足対策のため、サイクリングを始めました。
 天気の良い休日に、子供を連れて江田島や蒲刈島に行っています。
 夢はツールドひろしま安芸高田にエントリーできるようになることです。

毎日の診療で大切にされている事は何ですか……

話し上手になるよりも、聞き上手になること。まだまだ、未熟でどちらも上手になれませんが……

自院のやりがいは何ですか……

勤務医のときには経験がありませんでしたが、ご夫婦やご家族、中には3世代で通院される患者さんもおられます。こういう時は、「かかりつけ医」としてのやりがいとともに、患者さんの自院に対する信頼に責任も感じます。



JA吉田総合病院へ望むこと……

診療所での医療は、後方支援病院である総合病院の存在があって初めて成り立つものと考えます。現在の安芸高田市医師会とJA吉田総合病院の良好な関係が、今後も継続していくことを望みます。

interview



政永内科・まさなが歯科クリニック

住所 安芸高田市甲田高田原1451
 電話 0826-45-7711
 開業 平成19年 甲田町に開業。
 皆様のおかげで何とか10周年を迎えることが出来ました。
 標榜科 内科・歯科



南館耐震補強工事のお知らせ



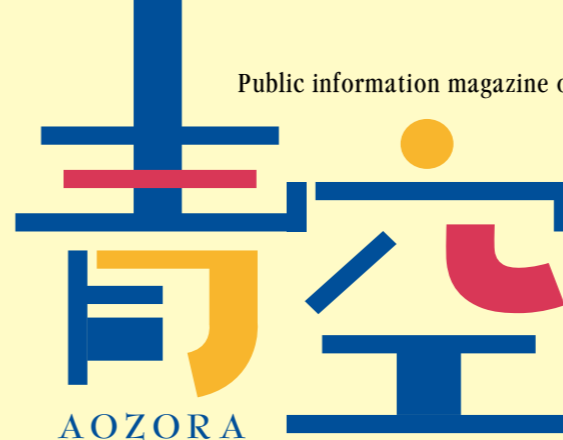
標記の件について、昭和56年に施行された新建築基準法により、震度6強以上の地震による建築物の倒壊・崩壊を防ぐため、耐震基準を満たしていない建築物については、耐震補強をすることが義務付けられています。

当院南館は、昭和42年に建築した建物であり、耐震診断を行った結果、新建築基準法による耐震基準に適合していないため、耐震補強工事を実施する必要があります。

つきましては、下記の日程により耐震補強工事を実施しますので、お知らせ致します。

皆様方には大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご協力いただきますよう宜しくお願い致します。

【実施日時】平成30年7月7日(土)～平成31年2月28日(木)
 【工事名】南館耐震補強工事 【施工業者】鹿島建設株式会社 広島支店



やさしい心で
 良質な医療を

秋号

vol.59

JA吉田総合病院

発行/広島県厚生農業協同組合連合会 吉田総合病院
 〒731-0595 広島県安芸高田市吉田町吉田3666
 Tel.0826-42-0636 Fax.0826-47-0007
 2018年(平成30年)8月発行
<http://yoshida-gene-hospi.jp/>

Facebookを開設しました



職場紹介

穏やかな療養環境をめざします

5階病棟科長 中野 直美



JA吉田総合病院の5階病棟は、平成11年4月より一般病棟から療養型病棟としての運営が始まりました。厚労省は長い年月を経て超高齢社会への対応として療養病棟の機能を変化させてきました。当病棟においても独居や認知症、加齢による様々な機能低下により在宅での暮らしが困難な事例が増えています。そのため療養病棟は長期療養の必要な方や一般病棟での急性期治療を終えた方、慢性疾患で酸素療法や透析療法などの医療依存度が高い方を受け入れています。また、末期がんにより在宅での生活が困難となり、緩和治療を行いながら人生の最期を迎える方への療養生活を支援しています。

スタッフは看護師20名、看護補



助者(介護福祉士等)11名、クラーク1名で常にスタッフ間で情報共有を行いながら協働しています。また、退院支援では相談員や各分野の認定看護師、薬剤師、理学療法士など様々な医療スタッフと共に支援しています。

長期療養される患者様のその人らしさと意思決定を尊重したケアを実践していくことを大切にしています。看護師は、主には患者様の医療的な処置やケアを行い、看護補助者は入浴介助や日常生活動作を行う上でより近い存在として援助しています。病状は安定していても寝たきりの状態や意思疎通が困難な方、認知症を発症した方にとっては、療養をしていく中でこの病棟が「生活の場」でもあります。そこで、季節感や生活背景を考慮したレクリエーションを取り入れ、療養生活にメリハリをつけ、少しでも楽しみや喜びを感じて頂けるように工夫しています。

また、私たちは、患者様の「退院して在宅に帰りたい」というその気

持ちに寄り添いながら、ご家族にもタイムリーに状況をご報告させてもらっています。日々の関わりから信頼関係を構築していくことも大切となりますので、患者様・そのご家族とのコミュニケーションをしっかりと図っていきたく思います。その一人ひとりの方の意思表示ができるときに、ご家族と一緒に「人生の最期をどう過ごしたいのか」を考え希望に添えられるように意思決定の支援に力を入れていく必要があります。患者様の病状によっては今後の治療方針をご家族に判断をして頂くこともあります。医師や看護師、相談員などと共に「その患者様ご本人だったらどう思われるか」と意思を推定し、一緒に考え、話し合いをしていく機会を作っていきます。

JA吉田総合病院での療養病棟の役割に応えられるようにスタッフ一同で頑張っていき、患者様に安心して療養していただけるように努めていきます。今後とも5階療養病棟をよろしく願い致します。

安芸高田市医師会病診連携懇親会を開催しました。

日時 平成30年6月14日(木) 18:30～ 場所 JA吉田総合病院 南館4階会議室



安芸高田市医師会会員と当院の連携強化と懇親を図るために、安芸高田市医師会病診連携懇親会を上記日時にて開催いたしました。

大変お忙しい中、17会員89名のご参加を頂き盛大に開催することが出来ました。主催者のJA吉田総合病院住元病院長・安芸高田市医師会 徳永会長の開会挨拶に続き、同 佐々木副会長の乾杯にて始まりました。途中、当院新任医師の紹介・八千代病院の体制変更の説明と職員紹介、当院の新任副院長2名の挨拶、地域医療連携室・居宅介護支援事業所の新任職員紹介と和やかな雰囲気の中進みました。その後、医師会員の施設紹介では、「政永内科」「のりかわ眼科」に当院 地域医療連携室にて取材にうかがった時の写真・インタビューを元にスライドを作成し、各医院の院長の趣味・モットー等を興

味深くご覧いただき楽しい時間を過ごしました。

当院 岩沖 病院長代行の閉会挨拶後、全体集合写真を撮影して、安芸高田市民のために今後もみんなで力を合わせていくことを確認して閉会いたしました。



先生とスタッフの皆様



先生、スタッフ皆様ありがとうございました。



私達みんなで連携して安芸高田市の医療を支えています。

院内ボランティア総会・研修会を開催しました。

【日 時】平成30年6月27日(水) 11:30～ 【参加者】13名



院内ボランティア総会を開催し、平成29年度の活動実績を報告し、平成30年度の活動計画の承認を得ました。総会后、みんなで昼食を取りながらお喋りして楽しい時間を過ごしました。

その後に、「2025年問題ってなあに?～みんなの安心は、地域の支え合いから～」と題して、JA吉田総合病院 地域医療連携室長 森川洋子室長の講演を聴き、これからも安芸高田市に住み続けるために、市内の

サービス・病院のかかり方、自分が地域で何が出来るかを考える機会となりました。今後も院内の活動をお願いするとともに、干支の短冊作り・正月花の作製の研修会を予定しております。院内ボランティアに興味がある方はJA吉田総合病院 地域医療連携室へご連絡ください。



JA吉田総合病院 地域医療連携室
☎0826-42-0669



「安芸高田市立吉田中学校の職場体験」に、2年生の生徒さん4名が参加されました。

【日時】平成30年7月9日(月)～13日(金)5日間

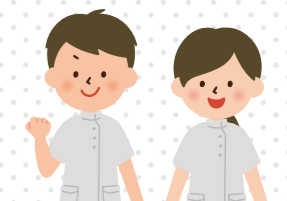
吉田中学校の職場体験学習は、「働く人々の姿に触れるとともに、自分たちも働く体験をすることで勤労の尊さを知り、将来に対する展望と働くことに対する考え方の基礎を養い、進路を見据えた自分づくりに活かしていくこと」を目的として毎年行っております。

職場体験前には、病院担当者との電話連絡・打ち合わせを行った上で臨みました。初日は、リハビリ科・検査科等の各部署を回りそれぞれの部署の仕事の説明を受け、生徒の皆さんは熱心にメモを取っていました。2日目以降は、老人保健施設「のぞみ」と療養病棟での業務の見学、患者・入所者さんとのふれあい・環境整備・レクリエーション等を体験しました。また、学習の中で、谷川看護部長からJA吉田総合病院の役割



▲内科 森元晋医師

の話、内科森元医師からは医師の話も聞き、普段、話が出来ない人との話に、皆さん興味深く聴かれていました。職場体験学習後の感想として、「病院にはたくさんの職種の人



が働いていて、その人達がコミュニケーションを取り合って、連携して病院が成り立っている」「病気を治して帰ってもらうだけではなく、患者さんの不安などの心に寄り添っていることを知り、心のケアも行ってすごいなと思った」等、病院に受診するだけでは解らないことを学びました。

参加された生徒の皆さんも「自分の将来・夢」を、現実的に考える時間になったと思います。将来はぜひ地元の医療のために、JA吉田総合病院で働いていただければ幸いです。

吉田小学校児童の皆さんが「のぞみ」訪問



老人保健施設「のぞみ」では、7月2日(月)に、吉田小学校4年生の児童の皆さん54名と先生4名の訪問を受けました。利用者の皆さんとのゲームでは児童の皆さんの元気な声が響き、利用者の皆さんにはたくさんの笑顔が見られました。その後、高齢者へ配慮した施設の状況、利用者の日課などについての職員の説明を聞くなど、福祉の現状を真剣に学ばれていました。今回の学習をもとに、次の訪問では「住みよい吉田プロジェクト」と

して、小学生が高齢者とどう交流するかをレクリエーションの形で企画し成果を出したいとのことです。秋の訪問が楽しみです。

